

# 型枠充填用断面修復ポリマーセメントモルタル 太平洋コンフロード

太平洋コンフロードは、再乳化粉末樹脂を配合した型枠充填用断面修復ポリマーセメントモルタルです。独特のフレッシュ性状が良好な充填性を発揮します。硬化後は、耐久性に優れ、かつ、乾燥収縮ひび割れが少ないことから、比較的大きな断面の修復を可能としました。

## ▶ 特長

- 独特のフレッシュ性状が良好な充填性を発揮します。
- 再乳化粉末樹脂など特殊配合のポリマーセメントモルタルであり、普通セメントモルタルと比較して耐久性に優れます。
- 乾燥収縮が小さく、硬化後の収縮ひび割れが少ないです。



桁補修の事例



柱補修の事例



アバット補修の事例

## ▶ 用途

- コンクリート構造物の大断面修復

## ▶ 製品概要・標準配合

- 太平洋コンフロード(25kg/袋)

### ■ 標準配合

太平洋コンフロード	25kg(1袋)
練混ぜ水	3.0~4.0kg(標準3.3kg)

### ■ 1m<sup>3</sup>当りの標準使用量(練混ぜ水量3.3kg/袋の場合)

太平洋コンフロード	1,900kg(76袋)
練混ぜ水	251kg

- 1) 練混ぜ水量は、施工時の気温や施工方法により変動します。したがって、標準配合の範囲内で調整して下さい。  
※練混ぜ水量は、気温が低い場合は少なく、高い場合は多くなります。
- 2) 練混ぜ水は、水道水またはそれに準じる清水を用いて下さい。
- 3) 練混ぜ水量3.3kg/袋により算出した数値です。

- ▶ 1袋当りの練上がり量 約13.2ℓ

## ▶ 性能例(20℃)

試験項目	材 齢	試験結果	準拠試験方法
ブリーディング率(%)	直後	0	JSCE-F-542-1999
圧縮強さ(N/mm <sup>2</sup> )	7日	34	JIS A 1171 ポリマーセメントモルタルの試験方法 ・養生: 温度20℃, 相対湿度60%気中養生 ・供試体寸法: 40×40×160mm
	28日	42	
曲げ強さ(N/mm <sup>2</sup> )	7日	7.0	
	28日	9.0	
付着強さ(N/mm <sup>2</sup> )	7日	2.0	建研式接着力試験機による [基板にはJIS A 5304に規定する コンクリート平板(N300)を使用]
	28日	2.5	
長さ変化率(%)	28日	0.048	JIS A 1129
塩化物イオン拡散係数(cm <sup>2</sup> /年)		0.537	JSCE-G-572-2010 浸漬期間: 320日

- 上記データは標準配合時の試験結果です。また、厳密に管理された試験室内にて実施されたデータであって、現場においては異なる数値を示す場合があります。
- 上記データのうち「圧縮強度」は、4×4×16cmの角柱供試体により測定した結果です。φ5×10cmの円柱供試体の場合は、この値よりも小さくなる場合があります。

## 施工概要

- ① 劣化あるいは脆弱化した部位を、はつりあるいは高圧水で完全に除去し、健全なコンクリート面を露出させて下さい。
- ② コンクリート面は十分に清掃して、埃や汚れを取り除いて下さい。
- ③ 鉄筋が発錆している場合には、防錆処理を施して下さい。
- ④ 施工面には適切なプライマーを塗布して下さい。
- ⑤ 施工面に型枠を設置して下さい。
- ⑥ 練り混ぜは、高速攪拌式グラウトミキサまたはハンドミキサにより行って下さい。ミキサ内に所定量の練混ぜ水を投入し、攪拌しながら太平洋コンフロードを徐々に投入し、均一になるまで攪拌して下さい。攪拌時間は、太平洋コンフロード全量投入後、グラウトミキサは90秒以内、ハンドミキサは90～120秒を標準とします。
- ⑦ 練り上がったモルタルをポンプにより圧送し型枠内に注入して下さい。注入は、注入開始から流出側の空気抜き孔よりモルタルが流出するまで連続して行って下さい。
- ⑧ 適切な養生後、型枠脱枠を行って下さい。型枠脱枠後、必要に応じて、塗布型収縮低減剤あるいは耐久性向上養生剤を塗布して下さい。
- ⑨ 詳細は、施工要領書をご参照下さい。

### 施工事例



グラウトミキサによる攪拌



桁補修時の注入の事例

### ご使用になる前に、必ずご確認ください。

●本カタログに記載される性能他他の事項は代表的な実験値や調査に基づくものであって、「すべての現場諸条件」に当てはまるものではありません。●ご使用になる前に、使用の目的や要求性能、および使用される場合の現場諸条件を考慮して、本製品が適正であるかどうかのご検討をお願いいたします。●特に、現場において実施されることの多い「圧縮強度」、「付着強度」については、試験体作成時の配合や環境温度、成形方法、試験体寸法や形状、その後の養生条件等により下回る数値を示すことがあります。●試験手順については、工事仕様書、発注者仕様書、または関連する指針(案)等をご確認頂き、必要に応じて監督係員と協議して事前に確認しておくようお願いいたします。

### 使用上の留意事項

- 練混ぜには、水道水またはそれに準じる清水を用いて下さい。
- 欠損が極端に大きい場合等の剥落のおそれがある箇所は、鉄筋の設置、アンカー、メッシュの取り付け等、補強を行って下さい。
- 外気温が5℃以下の場合には作業を行わないで下さい。やむを得ず施工する場合は、シート等の覆いの他、ヒーター等の保温を行って下さい。
- 型枠の脱型時期にはご注意ください。養生中に強風、日射、降雪等の影響を受けるおそれがある場合は、シート等で覆う、保温処置を講じるなどして、湿潤状態を保持し、かつ初期凍害を受けることが無いようにご注意ください。
- 練混ぜにはアルミニウム製の羽根は絶対に用いないで下さい。アルミニウム部材が摩耗し、施工後に異常膨張をすることがあります。
- 太平洋コンフロードの保管は、雨露がかからず湿気の少ない場所を選び、パレット等をしき床面から離れた状態でビニールシート等で覆って下さい。
- 廃棄する場合は、硬化後に産業廃棄物として処理業者に廃棄をご依頼下さい。
- 排水等は、水質汚濁防止法等の関連諸法令に従って廃棄して下さい。



### 安全上の注意事項

- 本製品はカタログに記載されている方法でご使用下さい。
- 本製品はセメントと同様にアルカリ性を示します。使用の際は、眼、鼻、皮膚及び衣類に触れぬよう保護具(ゴム手袋、保護眼鏡、マスク等)を着用の上、ご使用下さい。
- 誤って眼に入った場合は、直ちに清水にて十分に洗浄した後に速やかに医師の治療を受けて下さい。
- 誤って飲用した場合は、直ちに吐き出して、清水で十分洗浄した後に速やかに医師の診察を受けて下さい。
- 皮膚に付着すると肌荒れを引き起こすことがありますので、付着した場合は直ちに水洗いして下さい。
- 作業後は手洗い、うがいをして下さい。
- 本製品の取扱いに関して、詳細な内容を必ず安全データシート(SDS)にてご確認ください。

このカタログの記載の諸性能および諸物性は、環境条件や使用条件などによりカタログと異なる結果を生じることがあります。十分にご検討の上、ご使用頂きますようお願い申し上げます。このカタログの記載内容は、予告無しに仕様や取扱いを変更することがありますので、ご了承下さい。



太平洋マテリアル株式会社 <http://www.taiheiyo-m.co.jp>

### 営業本部 機能性材料営業部

〒114-0014 東京都北区田端6-1-1 田端ASUKAタワー15階 TEL.03-5832-5217

北海道支店	〒060-0004	北海道札幌市中央区北4条西5-1-3	日本生命北門館ビル	☎ 011-221-5855
東北支店	〒980-0804	宮城県仙台市青葉区大町1-1-1	大同生命仙台青葉ビル	☎ 022-221-4511
東京支社	〒114-0014	東京都北区田端6-1-1	田端ASUKAタワー16階	☎ 03-5832-5241
中部支店	〒453-0801	愛知県名古屋市市中区区太閤3-1-18	名古屋KSビル	☎ 052-452-7141
関西支店	〒532-0011	大阪府大阪市淀川区西中島4-3-2	類ビル4階	☎ 06-7668-6001
中国支店	〒732-0828	広島県広島市南区京橋町1-23	三井生命広島駅前ビル	☎ 082-261-7191
四国支店	〒760-0050	香川県高松市亀井町7-15	セントラルビル	☎ 087-833-5758
九州支店	〒810-0001	福岡県福岡市中央区天神4-2-31	第2サンビル	☎ 092-781-5331